

5.一般社団法人日本神経病理学会  
神経病理認定医教育施設、准教育施設設調査書、研修カリキュラム申請書

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 提出

教育施設番号  新規申請  更新申請  区分変更申請

申請する施設区分  教育施設  准教育施設

医療施設名 (カナ) \_\_\_\_\_  
(漢字) \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

指導管理責任者 (神経病理学会代議員 1名) ※教育施設、准教育施設は常勤の指導医とする。

氏名 \_\_\_\_\_ 所属・役職 \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

I. 神経病理教育指導者とスタッフの現状 (教育指導が可能な医師、技術員)

診療科・部門  神経病理  病理  神経内科  脳神経外科  精神科  小児神経科  
 その他 (具体的に \_\_\_\_\_)

指導医 (日本神経病理学会評議員あるいはこれに準ずる代表者) およびスタッフの現状

	氏名	所属・役職	常勤/非常勤	他学会の専門医・指導医・屍体解剖資格
1			常勤/非常勤	
2			常勤/非常勤	
3			常勤/非常勤	
4			常勤/非常勤	

II. 施設の概要

1. 施設分類 (該当項目をチェック)

(1) 病院 医学部 (医科大学) 附属病院:  国立大学法人  公立大学 (法人)  私立大学  
医学部以外の大学附属病院:  歯学部  保健学部・医療関係の大学  その他  
大学病院以外:  国立病院  国立病院機構  公立病院  
 公的病院 (日赤, 済生会, 厚生連など)  民間病院

(2) 研究施設  ( \_\_\_\_\_ )

III. 神経病理の実績 \* 2019年1月1日より2023年12月31日までの5年間

A. 剖検数

	総剖検数	総剖検数中の神経疾患剖検数と内訳
2019		

2020		
2021		
2022		
2023		

B. 脳・脊髄の外科病理診断数

	<u>脳・脊髄の外科病理診断数</u>	疾患の内訳
2019		
2020		
2021		
2022		
2023		



指導医 氏名 \_\_\_\_\_ 所属・役職 \_\_\_\_\_ 神経病理学会員の有無  会員  非会員

担当領域  剖検  外科病理  筋生検・末梢神経生検

1年間の平均実績( ) 例/年, 研修可能症例数( ) 例/年

(4) 連携施設名 \_\_\_\_\_

指導医 氏名 \_\_\_\_\_ 所属・役職 \_\_\_\_\_ 神経病理学会員の有無  会員  非会員

担当領域  剖検  外科病理  筋生検・末梢神経生検

1年間の平均実績( ) 例/年, 研修可能症例数( ) 例/年

(5) 連携施設名 \_\_\_\_\_

指導医 氏名 \_\_\_\_\_ 所属・役職 \_\_\_\_\_ 神経病理学会員の有無  会員  非会員

担当領域  剖検  外科病理  筋生検・末梢神経生検

1年間の平均実績( ) 例/年, 研修可能症例数( ) 例/年

不足する場合は追加してください。

(6) 複合型研修カリキュラムにより十分な研修が行える理由

4. 1年間に研修受入可能な人数とその身分

人数( ) 例/年 身分( ) (大学院生、後期研修医など)